

おばま 市議会だより No. 159



国富小学校之歌
 佐々木信綱作詞
 弘田龍太郎作曲

一 空に響ゆる 天が城
 高く雄々しき 心を示す
 絶えず流れる 北川は
 深き教えを 我等に語る

二 黄金波打つ 千町田は
 励みいそしむ 尊きしるし
 我等学びに 芳めつつ
 我が国富の 村の名譽けん

三 心を鍛え 身を練りて
 いざや学ばん 御国の為
 至誠努力を 胸にして
 共に尽さん 我が家の為



宮川小学校校歌
 山本和夫作詞

一 くらかけ山に とびが嶽
 みどりの香り かぐわしく
 五穀ゆたかな きよい里
 若狭のはこる 米ぐらに
 あふれる恵みしあわせつばい
 宮川われらの宮川小学校

二 加茂の社に 白いサル
 又王を退治た 類政の
 昔ばなしも 胸をうつ
 京の都と 手を組んで
 文化をひろく理想をいばい
 宮川われらの宮川小学校

三 緑のこすえに 青い空
 校舎の庭の 梅樹に
 たのしい雲が よびかける
 村の努力が 花咲いて
 あかるい未来たのしいは
 宮川われらの宮川小学校



校歌
 作詞 山本和夫
 作曲 山本和夫

一 校舎をめぐつて 松はな
 梢には 春風 吹いている
 ああかぐわしく 風かきさる
 松のみどりの 松永に
 心無しく 伸びていく われら
 心ざ花で かきさうよ

二 光麗らの 明通寺
 三重の塔や 仁王門
 ああおごそかに 瑞氣充つ
 松のみどりの 松永に
 心づららに 伸びていく われら
 久遠の理想 汲みどらう

三 岩倉はねる 奥山に
 三番の滝が どうとと
 あああせやかに 虹を吐く
 松のみどりの 松永に
 心づららに 伸びていく われら
 命を王冠におどらうよ

石室書

遠敷小学校校歌
 作詞 山本和夫
 作曲 鈴木良二

一 若狭のくにやしられた
 いまはめざまの宮居は
 千年かおひける
 せかいの人と手をつなぎ
 楽し遠敷の学びやた
 われらもはむらけいしん

二 清くおどろいしえを
 日本をさぐるとたられた
 聖武のみまの国分寺
 遠い昔やしのんでは
 楽し遠敷の学びやた
 われらも学び久遠の理想

三 音吉池川に魚はしり
 小鳥はさえずる 万徳寺
 たわにしげたもみじ葉を
 平和のペリシにわたりて
 楽し遠敷の学びやた
 われらもはむらけいしん

四 うのせの水にかまひ行い
 せらのみやこの二月堂
 われらの歌もはるかな
 世界のなまことわか
 楽し遠敷の学びやた
 われらもはむらけいしん



3月定例会の概要 P2
 平成31年度当初予算を可決 P4
 市政を問う！一般質問 P8
 第18期議員の紹介 P12

3月定例会の概要

平成31年第1回定例会
が2月21日から3月22日
まで、30日間の会期で行
われました。今定例会では
平成31年度の当初予算が
慎重に審議され、全会計原
案どおり可決されました。
その他、3月補正予算や1
件の陳情などの審議を行
いました。主な内容等につ
いては次のとおりです。全
ての議案採決は採決結果
一覧をご覧ください。

材利用が可能となること
に伴う改正。

【陳情】

◆全国知事会の「米軍基
地負担に関する提言」
の実行を求める意見書
提出に関する陳情

【意見書】

◆米軍基地負担に関する
意見書（7ページに内
容掲載）

【市会案】

◆小浜市議会基本条例の
一部改正について

【説明】 反問権を行使でき
る機会の拡大など、小浜
市議会基本条例の検証・
見直しに伴う所要の改正
を行うもの。

◆小浜市議会委員会条例
の一部改正について

【説明】 常任委員会の委員
の定数について、所要の
改正を行うもの。

【その他】

◆和解について

【説明】 システム通信障害
に関しての和解について
議会の議決を求めるもの。

◆小浜市母子家庭等医療
費の助成に関する条例
の一部改正について

【説明】 一人暮らしの寡婦
の定義が改正され、また、
養育者も助成対象となる
ことに伴う改正。

◆小浜市小浜西組伝統的
建造物群保存地区にお
ける建築基準法の制限
の緩和に関する条例の
一部改正について

【説明】 建築基準法の一部
改正により、防火地域、
準防火地域内において内
部の壁、柱等において木

【可決した平成31年度当初予算】

会計名	平成30年度	平成31年度	増減率	
一般会計	158億1,800万円	151億4,600万円	▲4.2%	
特別会計	88億8,177万円	90億7,634万円	2.2%	
内 訳	国民健康保険	28億4,985万円	30億795万円	5.5%
	後期高齢者医療	3億6,576万円	3億7,222万円	1.8%
	介護保険	33億5,290万円	33億4,793万円	▲0.1%
	簡易水道	9,888万円	9,056万円	▲8.4%
	下水道	16億9,796万円	17億1,875万円	1.2%
	農業集落排水	4億6,014万円	4億6,690万円	1.5%
	漁業集落環境整備	5,623万円	7,198万円	28.0%
	加斗財産区	5万円	5万円	0.0%
企業会計	9億1,102万円	8億4,669万円	▲7.1%	
合計	256億1,079万円	250億6,904万円	▲2.1%	

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

【可決した平成31年度補正予算】

会計名	補正前予算額	補正額	合計
一般会計	151億4,600万円	1,047万円	151億5,647万円
特別会計	90億7,634万円		90億7,634万円
企業会計	8億4,669万円		8億4,669万円
計	250億6,904万円	1,047万円	250億7,951万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

【可決した平成30年度補正予算】

会計名	補正前予算額	補正額	合計
一般会計	166億6,225万円	5億2,835万円	171億9,060万円
特別会計	89億4,911万円	1億8,073万円	91億2,984万円
企業会計	9億1,939万円	15万円	9億1,954万円
計	265億3,075万円	7億0,923万円	272億3,998万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

平成31年第1回定例会採決結果

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
予算	平成30年度小浜市一般会計補正予算(第7号)	予算	平成31年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算
	平成30年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		平成31年度小浜市水道事業会計予算
	平成30年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		平成30年度小浜市一般会計補正予算(第8号)
	平成30年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		平成31年度小浜市一般会計補正予算(第1号)
	平成30年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	条例	小浜市議会基本条例の一部改正について
	平成30年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市議会委員会条例の一部改正について
	平成30年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
	平成30年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市放課後児童クラブ条例の一部改正について
	平成30年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)		小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について
	平成30年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)		小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について
	平成31年度小浜市一般会計予算		小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の一部改正について
	平成31年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算		小浜市小浜西組伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の一部改正について
	平成31年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算		小浜市簡易水道設置条例の一部改正について
	平成31年度小浜市介護保険事業特別会計予算		小浜市布設工事監督者の配置基準および資格基準ならびに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について
	平成31年度小浜市簡易水道事業特別会計予算	その他	議会の委任による専決処分等の報告について(損害賠償の額を定めることについて)
平成31年度小浜市下水道事業特別会計予算	和解について		
平成31年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算	小浜市水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定の期間の変更について		
平成31年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算			

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	賛成	反対
			久患	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦		
陳情	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する陳情	多	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×		○	○	○	○	12	4
意見書	米軍基地負担に関する意見書	多	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	14	2

※藤田善平議員は議長のため採決には加わっておりません

●ホームページを

ご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。「小浜市議会」で検索!

小浜市議会

検索

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集いや旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)

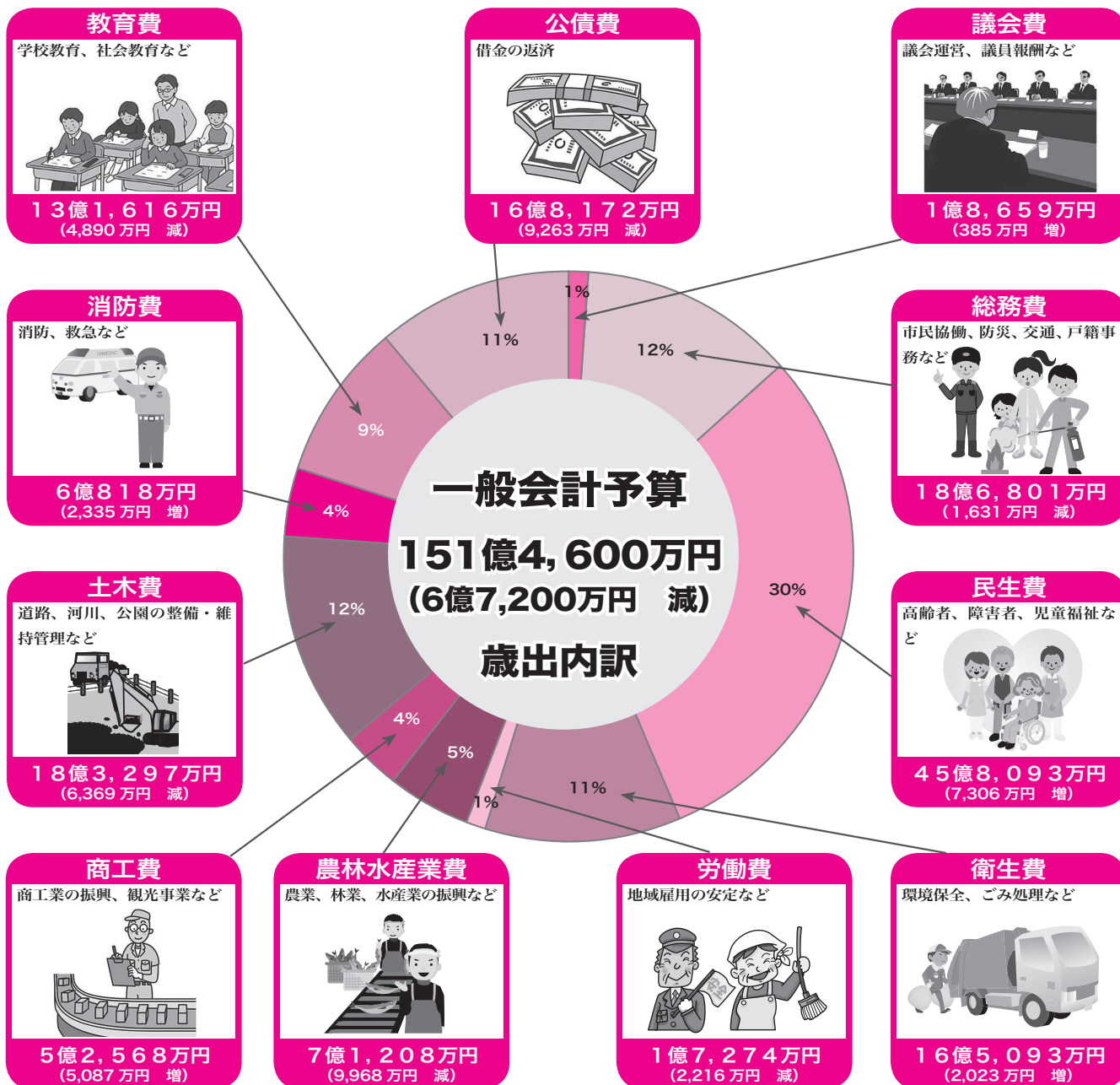
また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

原案どおり可決

平成31年度当初予算案を予算決算常任委員会で慎重に審議した結果、全会計とも原案どおり可決しました。

A級（永久）グルメの継承や、幼児教育の無償化をはじめとする社会保障の充実に対応するための予算が盛り込まれました。

※（ ）は前年度比較



※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

総額 250億6,904万円 平成31年度当初予算

本年度の主な新規事業

新幹線講座開催事業 122万円
新幹線を活かしたまちづくりの方向性や新たなまちづくりについて、今後取り組むべき方向性を共有する。

新・健康管理センター整備事業 714万1,000円
「保健センター」「子育て支援センター」「健康増進・介護予防」の3機能を有した新・健康管理センターを整備する。

(仮称) 鯖街道 MUSEUM 整備事業 2,600万円
小浜縦貫線の拡幅に伴い移転が必要となる鯖街道 MUSEUM を新たに建築する。

遊休農地を活用した若狭牛放牧推進モデル事業 365万3,000円
中山間地域の遊休農地解消の新たな方策として、試験的に肉用牛の放牧に取り組む。

港町若狭小浜日本遺産フェスティバル実施事業 466万3,000円
イベントを開催して本市の日本遺産の魅力を最大限発揮するとともに、魅力を発信する。

民間活力による「鯖、復活」養殖拡大プロジェクト 692万6,000円
民間の活力を最大限に活かした養殖体制を構築し、「小浜よっぱらいサバ」の販路拡大を通じて小浜のPRに取り組む。

集落活性化支援事業 652万円
まちづくり協議会を主体とした共同活動に対する支援および担い手育成のための研修会等を開催する。

特定エリア空き店舗対策事業 200万円
北陸新幹線敦賀開業を控え、JR小浜駅付近の賑わいの創出および空き店舗の利活用を図る。

病児保育事業 499万7,000円
小学校3年生以下の病児を預かることにより、働きながら子育てする家庭への支援を図る。

A級（永久）グルメ継承事業 653万6,000円
地域おこし協力隊により人材育成を図るほか、「にっぽんA級（永久）グルメのまち連合」などと連携して食関連産業の活性化を強化する。

ひとり親家庭児童の学習支援事業 131万円
ひとり親家庭となった児童をサポートし、学習ボランティアによる学習支援を行う。

小中学校 ICT 教育環境整備事業 157万5,000円
普通教室等に ICT 機器を整備し、授業の質と学習効果の向上を図る。

委員会審査

予算決算常任委員会（3月補正）

◆原子力災害対策施設整備事業（市民体育館） 3億300万円

〔説明〕 原子力災害発生時に一時避難する「屋内退避施設」を市民体育館に整備する事業。

◎ 本事業を繰り越し、平成31年度内の完成予定とのことであるが、部品調達が困難な状況で工期内の完成は見込めるのか。

◎ 入札、契約を早期に行い、工期内の完成に努める。

◎ 本市がエアシエルトーを選択した理由は。

◎ 市民体育館は、気密性が保てないため、建物自体をエアシエルトー化できない。

予算決算常任委員会
（平成31年度当初予算）

◆私立保育園委託事業

5億7,598万
6,000円

◎ 新規でバンビーナという園に保育委託する必要性は。

◎ 子ども・子育て支援

新制度や社会的な背景に伴い、ゼロ歳児から2歳児までの保育需要が各段に伸びていて、その年齢層の保育受け入れの定員は100%を超えている。

◎ 保育士を確保できれば、19名まで受け入れが可能のため、保育の需要を勘案しながら定員拡充を依頼していく。

◆新健康管理センター整備事業

714万1,000円

◎ 新施設の特徴と駐車場は。

◎ 3階建ての施設で、乳幼児から高齢者まで切れ目なく、健康を中心とした生活相談に対応する所管課を1階に、2階には子育て支援センターの機能、3階には介護予防や健康維持の機能を想定している。駐車場は100台を確保したい。

〔意見〕 利用者の利便性を優先させ、メンテナンスやランニングコストも勘案して事業を進めるべき。

◆閉校4校管理諸経費 977万8,000円

◎ 平成31年4月以降の4校の管理方針と、各地区への業務委託の内容は。

◎ 閉校する学校は4月から財政課管理の普通財産となるが、2年間は委託を受けて教育委員会が管理し、施設を使用しながら備品を整理していく。

◎ 体育館のトイレ清掃、校庭の除草、避難所として利用する教室の管理等について、各地区の状況も確認しながら検討を進める。

〔意見〕 4校は避難所として指定されており、有事の際などにすぐに使用可能となるよう日常的な管理を行う必要がある。

予算決算常任委員会
（平成31年度補正予算）

◆低所得者等プレミアム付商品券発行事業

1,016万9,000円

◎ 商品券が利用可能な店舗は。

◎ 国が4月に要綱を示

すので、その範囲内でできるだけ多くの方が利用できるように検討したい。

総務民生常任委員会

◆議案第21号 小浜市職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

◎ 超過勤務時間の上限が設定されることに伴い、急を要する業務等、上限時間を超えて仕事をせざるを得ない状況も考えられるが対応は。

◎ ワークライフバランスを確立するため、超過勤務時間の縮減に取り組んでおり、本条例の改正に伴い、職員に周知徹底するだけでなく、所属長は、全体の業務量の把握やスケジューリング管理、残業をする職員の業務確認等を行い、上限時間を超えないよう努力していく。

◆議案第22号 小浜市放課後児童クラブ条例の一部改正について

◎ 児童クラブを2ユニットにすることに伴い、クラス分けの基準と安全性の確保の観点から、支援

員配置はどうなのか。

◎ 基本的には学年によりクラスを決定することになるが、遊ぶ場合は一緒にするなど、臨機応変に対応していく、支援員については、人数の多いクラスを4名、少ないクラスを2名の合計6名体制で、それぞれクラスの担当者を決めて、運営していく。

◆議案第23号 小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について

〔説明〕 福井県ひとり親母子家庭等医療費助成事業実施要綱に規定する「一人暮らしの寡婦」の定義が改正されること、また、養育者も助成対象となることに伴い、所要の改正を行うもの。

◆議案第24号 小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について

〔説明〕 平成31年4月1日から若狭広域行政事務組合で、障害者介護給付費等支給審査会を実施するため、所要の改正を行うもの。

◆議案第25号 小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

〔説明〕 小浜市水産業活性化拠点施設の改修工事において、当初予定していた平成31年3月末までの完成が見込めず、施設の供用開始が5月に変更になることに伴い改正を行うもの。

◎ 施設の供用開始に向けた平成30年度中の計画ならびに対応は適切であったのか。

◆陳情第2号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する陳情

〔意見〕 国民の生命・財産や領土・領海を守る立場から、全国知事会の提言を実施していく、国全体で日本を守るという考え方になって進めていくべき。

〔意見〕 陳情の趣旨は理解できるが、ロシアや中国、北朝鮮など世界情勢を勘案すると、米軍の影響力も必要である。

産業教育常任委員会

◆議案第25号 小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

〔説明〕 小浜市水産業活性化拠点施設の改修工事において、当初予定していた平成31年3月末までの完成が見込めず、施設の供用開始が5月に変更になることに伴い改正を行うもの。

◎ 施設の供用開始に向けた平成30年度中の計画ならびに対応は適切であったのか。

◆陳情第2号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する陳情

〔意見〕 国民の生命・財産や領土・領海を守る立場から、全国知事会の提言を実施していく、国全体で日本を守るという考え方になって進めていくべき。

〔意見〕 陳情の趣旨は理解できるが、ロシアや中国、北朝鮮など世界情勢を勘案すると、米軍の影響力も必要である。

産業教育常任委員会

◆議案第25号 小浜市水産業活性化拠点施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

〔説明〕 小浜市水産業活性化拠点施設の改修工事において、当初予定していた平成31年3月末までの完成が見込めず、施設の供用開始が5月に変更になることに伴い改正を行うもの。

◎ 施設の供用開始に向けた平成30年度中の計画ならびに対応は適切であったのか。

◆陳情第2号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する陳情

〔意見〕 国民の生命・財産や領土・領海を守る立場から、全国知事会の提言を実施していく、国全体で日本を守るという考え方になって進めていくべき。

〔意見〕 陳情の趣旨は理解できるが、ロシアや中国、北朝鮮など世界情勢を勘案すると、米軍の影響力も必要である。

⑧ 施設の供用開始に向けては、県の補助金の関係もあり詳細設計と改修工事の両事業を年度内に行うというタイトなスケジュールの中、遅滞なく各種手続き等を進めてきたが、改修工事の入札において、部品の調達が困難で工期内の完成が見込めないとの理由から、施設の供用開始が遅延するに至った。

【意見】 今後は事前の市場調査なども踏まえ、あらゆる事態を想定し事業を遂行すべきである。

◆ 議案第26号 小浜市小浜西組伝統的建造物群保存地区における建築基準法の制限の緩和に関する条例の一部改正について
 【説明】 建築基準法の一部を改正する法律が公布さ

れ、防火地域、準防火地域内において高い延焼防止性能が求められる建築物についても、内部の壁・柱等において更なる木材利用が可能となるよう基準が見直されることに伴い、引用条項が改正されるため、所要の改正を行うもの。

【問】 今回の改正による小浜西組地区内の建築物に対する影響はないのか。

【答】 増築等における建築基準法による制限が緩和されることとなる。

◆ 議案第30号 小浜市水産業活性化拠点施設の指定管理者の指定の期間の変更について
 【説明】 議案第25号の条例の一部改正に伴い、指定の期間の変更を行うもの。

● 3月定例会で可決した意見書

【概要】 平成30年7月に全国知事会において、全会一致で採択された「米軍基地負担に関する提言」については、米軍基地は、防衛に関する事項であることは十分認識しつつも、各自治体の生活に直結する重要な問題であることから、地方自治法第99条の規定により関係行政機関に対し、全国知事会の提言の実行を求める意見書を提出するもの。



特別委員会活動報告

北陸新幹線早期全線開業特別委員会

本特別委員会は、2023年春の金沢・敦賀間の開業と、敦賀以西の早期全線開業およびまちづくりに関する調査研究に取り組みできました。

去る1月21、22日には、与党整備新幹線PT座長岸田自民党政調会長はじめ整備PTメンバーへの中央要望活動を松崎市長と共に、整備財源の確保と、

15年とされる工事期間をできる限り短縮して2030年度末より早い大阪までの全線開業を強く要望しました。

敦賀・大阪間の駅ルートが近く公表されますが、小浜市議会として、今後は、早期に環境影響評価に着手し、敦賀開業後は間断なく整備が進められるように取り組んでいきます。



岸田 PT 座長への要望

地域防災・原子力安全対策特別委員会活動報告

本特別委員会は、市民の安心・安全を守るという観点から、原子力災害および自然災害等に対応する地域防災対策についての調査・研究に取り組んできました。

現状を踏まえ、万が一の決壊などを想定した対策を行っていかねばならないことや、定期的な点検を充実させる必要性を改めて認識しました。

去る1月30日には、全国で頻発する土砂災害等への対策について調査するべく、市内の砂防ダムおよびため池の視察を実施したところであり、全国で想定外の自然災害が発生している

各災害への対策は、市民の生命に直結する重要な事案であり、今後も小浜市議会として、防災対策、防災教育の向上を追求した調査・研究を実施してまいります。



上町川砂防ダム（本保地係）視察

市政を問う！一般質問

平成31年第1回（3月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
8	風呂 繁昭	1. 平成31年度当初予算について	9	能登 恵子	1. スプレー缶の収集方法について 2. 男女共同参画社会推進第3期プランに関して 3. 公共施設「個別施設計画」(案)について
8	藤田 靖人	1. 防災の取り組みについて 2. 日本遺産、文化財の利活用について	10	牧岡 輝雄	1. 小浜市総合戦略について 2. 小浜を研く重要施策について
9	佐久間 博	1. 雇用、居住、起業の支援施策について 2. NPO法人について	10	熊谷 久恵	1. 安心・安全な暮らしのための防犯対策を 2. 地域コミュニティの在り方について
9	下中 雅之	1. 地域包括ケアシステムの構築について 2. 認知症ケアの推進について 3. 在宅医療と介護の連携について			

「北陸新幹線敦賀開業、アクションプラン先行事業」「食のまちづくりの新展開」「日本遺産NEXTSTAGE」「新集落活性化創造」これらの4つの重点プロジェクトは、い

人口減少は避けられないが、それでも小浜が元気になるには、活性化させるには、地域の事業者が儲かり稼いだ外貨を地域で消費し、市税も増加する「地域経済好循環」に向けた施策が必要である。市長の3期目の任期満了まで残り1年余りとなり来年は市長選のため、骨格予算となるが、3期目の公約「地方創生と活力ある小浜の創造」は平成31年度当初予算においてどのような形で表わされているのか。



風呂 繁昭
議員

平成31年度の当初予算への期待

これまで3年間の取り組みで、養殖規模の拡大や「よっぱらいサバ」のブランド化を実現した。販路の確保、生産コストの低減と技術研究面の飼育技術や人工種苗生産技術の確立が必要であり、地元田島のやる気のある漁業者と完全養殖技術を確立したい。

「食のまちづくりの新展開」の「鯖、復活プロジェクト」は小浜ならではのストーリーでメディアにも取り上げられ大きな効果があったが、今後「鯖養殖」を採算事業として確立するには民間と行政の適切な役割分担が必要である。市はどの様に取り組んでいくのか。

いずれも小浜の地域資源を活用し、それを研ぎ上げ、経済好循環を目指すもの。公約である「地域創生と活力ある小浜の創造」を実現し、将来への発展に繋げていきたい。

災害発生時においては、パトロールを行う調査工作班、物資の移送を行う物資供給班、情報発信を行う広報班等の他、避難所を担当する職員など、「職員初動マニュアル」に基づき対応している。

関係機関との連携も進んでおり、気象庁や国土交通省とホットラインが構築され、気象状況を直接確認できる。市に災害対策本部が設置された場合は、県から職員が派遣され情報共有や災害対応への助言を得られ、現体制で対応が可能であると考えている。

「重点プロジェクト」「食のまちづくりの新展開」の「鯖、復活プロジェクト」は小浜ならではのストーリーでメディアにも取り上げられ大きな効果があったが、今後「鯖養殖」を採算事業として確立するには民間と行政の適切な役割分担が必要である。市はどの様に取り組んでいくのか。



藤田 靖人
議員

①防災体制、②文化財の活用、について

イベントの計画や実施については、多くの市民団体の方々に携わっていただき、それぞれが持続可能な日本遺産の推進や文化財の活用事業につなげていただけるよう事業の展開を図るとともに、広く市内外に発信する中でさらなる周知に努めていきたい。

来年3月に、いづみ町に鯖街道MUSEUMがオープンし、関連するまちづくり団体が結集した港町若狭小浜日本遺産フェスティバルの実施を計画している。

今後とも、防災担当部署はもとより、各部署の専門性を生かしながら、全庁体制で臨んでいく。

一般質問



佐久間 博
議員

問 U・ーターンを促進する対策を伺う。

答 東京圏から移住・就職した方に最大100万円補助する制度など充実をはかる。

問 製造業に対する支援について伺う。

答 「ものづくり就職奨励金」制度は毎年20名を超える交付の実績があり、続けたい。

問 空き家に新たに住み、親と近居する場合の支援を伺う。

答 子育て介護のために直系家族世帯に対して、同一小学校区内または3キロ圏内に住居購入費用2分の1、上限50万円補助する。

問 2世帯同居の支援を伺う。

答 リフォームをする場合に費用の2分の1、上限80万円の補助があり、注目度が高い。

定住人口増施策とNPO支援の充実を！

問 起業への支援は。創業チャレンジ事業補助金の利用者は12名が実績である。

問 特定エリア空き店舗対策事業を伺う。

答 JR小浜駅付近のエリアを定め、空き店舗を活用して飲食店を開店する場合、まちの駅から三丁町のエリアでは飲食の他に土産店舗も対象として、補助金額の上限100万円の補助を行う。

問 まちづくりにおいてのNPO法人の役割を伺う。

答 自治体や企業にはない発想で住民ニーズに応じ、きめ細やかな活動は公益の担い手となり、活発なまちづくりが行える。

問 NPO法人を育てる施策と意見を伺う。

答 登録した団体は無料でボランティアセンターを使用できる。島根県江津市の取り組み等を参考に研究する。まちづくりに広がる活動を期待している。



下中 雅之
議員

問 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための考えを伺う。

答 高齢者の住まいを中心とし、医療や介護・予防・生活支援のサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が大変重要であると考える。

問 成年後見制度に対する今後の取り組みについて伺う。

答 地域包括支援センターでは、成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族に対して、制度の説明や申し立てに当たった支援、関係機関の紹介などに取り組んでいる。

また、申し立てを行う親族がいない場合や親族がいても申し立てを行う意思がない場合でも成年後見制度の利用が必要と認める場合

住み慣れた地域で安心して暮らすには！

は、市長申し立てによる支援を行っている。

問 徘徊高齢者の支援について伺う。

答 徘徊の恐れのある認知症高齢者等の行方不明に迅速に対処し、早期発見できるように、地域住民や関係機関の協力を得て、高齢者および障がい者徘徊SOSネットワークを平成27年に立ち上げた。

また、介護者等の負担軽減や徘徊高齢者等の安全確保を二層図るため、GPSを利用した位置検索機能を備えた靴を購入する際に、その費用の一部を助成する制度を平成31年度から開始したいと考えている。

問 家族介護支援に対する取り組みを伺う。

答 介護なんでも相談窓口である地域包括支援センターが中心となり、家族介護者に対する相談体制を充実させ、介護疲れによる共倒れが起きないように、きめ細かく支援をしていきたい。



能登 恵子
議員

問 札幌市でスプレー缶処理中の爆発事故から、環境省も推奨する穴を空けない安全な収集ができないか伺う。

答 スプレー缶の自身を使い切るのは、県内共通。今回穴を空けない収集になった自治体は、元々コンテナ分別をしていたので可能。穴あけルールを継続したいが、メリット・デメリットを検証し、より良い方法を検討したい。

問 男女共同参画社会推進第3期プランに関して、現状と今後を問う。

小浜市は数字的には県内では良いが、福井県は男女共同の意識の低い県。数字の内容をみると、都合の良いところだけ女性を多く登用して数合わせ。それ

子ども世代に負担の少ないまちづくりを

でいいかを問う。

答 審議会等の構成員が、あて職や専門知識、経験が必要な方となっているので、女性登用が進まない。73%の女性が、職場でいきいきと活躍しているとアンケートに回答して管理職になることだけが活躍ではないと考えている。

問 小浜市の公共施設保有面積は約15.8㎡、1人当たりの負担は平均4万9244円、現在の保有面積を人口減少も加味し維持した40年後、8万8136円、約56%の施設しか維持できない。若い世代に負担が重くならないよう、賢いまちづくりが必要では。

答 北陸新幹線を見据えたまちづくりを進める中で「個別施設計画」は重要。柔軟な発想や総合的な視点で、公共施設の集約・複合化や官民連携事業の導入についても検討していきたい。



牧岡 輝雄
議員

問 区長の協力で空き家の調査を行ったと聞きますが、所有者や納税者、相続人など適正に管理されているのか。

答 平成29年度から区内の空き家実態調査を行っている。空き家として認められる物件について、固定資産税の課税情報から、ほぼすべての空き家の所有者等を把握している。

問 近年の数値、今後の予測などデータ管理をしているのか。

答 今年度の調査で、人の出入りのない空き家が、647件、庭木の剪定や住宅の換気を行っている留守宅が427件あり、住んでいない住宅が約1000件以上ある。平成30年4月1日現在、一人暮らし高齢者世帯が1175世帯と

空き家、空き地の管理について

なっていることから、今後も空き家の増加が見込まれる。

問 他所では、シルバー人材センター等が空き家等の管理を行っているというが、ふるさと納税の返礼品など考えられないか。

答 本市において、市内の不動産事業者が所有者に代わり空き家の外回りの点検を行い報告する業務を返礼品として登録している。本市において、市外に住む空き家の所有者が空き家の除草や樹木の剪定などの管理をシルバー人材センター等の市内の業者に依頼している事例があり、また、全国では、空き家等の点検・見守りや管理業務をふるさと納税の返礼品として登録している自治体もある。シルバー人材センター等の市内業者と連携した取り組みについては、業務の内容や金額の設定など課題もあり、他自治体の事例を参考にしながら検討していく。



熊谷 久恵
議員

問 公共施設等の防犯カメラ設置状況を問う。

答 庁舎、中学校、病院、福祉施設、保育園はあり、小学校、文化会館、食文化館、公園、道路（通学路）はない。

問 設置の検討は。

答 犯罪防止の点で効果は期待できるが、プライバシー侵害の恐れもあり、他自治体の動向も踏まえ検討したい。

問 防犯灯設置状況は。

答 区長要望より、通学路指定を含めた道路の、必要性が高い箇所から設置。平成18年から約660箇所設置、平成30年度は45箇所。

問 地域を繋ぐ道路や、要望する区と設置する区が違う場合の対応は。

答 設置後の電気代・修理費等を含めた維持管理は地元負担。両区で相談し維持管理を行う区を決めて市へ要望を。両区で費用負担したり、地区の区長会で負担するところもある。交通事故防止や各種犯罪防止に大変効果的と考えるため、今後も継続して実施したい。

意見 設置強化年を設けるなど迅速な対応を。

問 地域コミュニティである各区の人口構成状況、増減推移は。

答 人口29,343人、148区のうち人口500人超え大規模区は8区、最大は生守区2,044人。人口50人未満の小規模区11区、最小は上根来・中の畑区1人。人口増減推移20年間比較では市全体で約4,800人減少、各区は同様に減少するも、生守区は約700人増加。

問 区の適正規模は。

答 適正な人口規模の基準はないが、円滑な運営に支障も出ていないと聞く。市としても課題解決に向け、区と意思疎通を図っていく。

安心・安全な暮らしのための整備とは

う区を決めて市へ要望を。両区で費用負担したり、地区の区長会で負担するところもある。交通事故防止や各種犯罪防止に大変効果的と考えるため、今後も継続して実施したい。

意見 設置強化年を設けるなど迅速な対応を。

問 地域コミュニティである各区の人口構成状況、増減推移は。

答 人口29,343人、148区のうち人口500人超え大規模区は8区、最大は生守区2,044人。人口50人未満の小規模区11区、最小は上根来・中の畑区1人。人口増減推移20年間比較では市全体で約4,800人減少、各区は同様に減少するも、生守区は約700人増加。

問 区の適正規模は。

答 適正な人口規模の基準はないが、円滑な運営に支障も出ていないと聞く。市としても課題解決に向け、区と意思疎通を図っていく。

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか??

小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2~3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2~3MB程度でお願いします。

【応募方法】

・応募は、データの持参またはメールをお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.fukui.jp

・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

今月の表紙

国富・宮川・松永・遠敷
小学校の校章と校歌

小浜東部地区の4小学校が小浜美郷小学校へ統合されました。

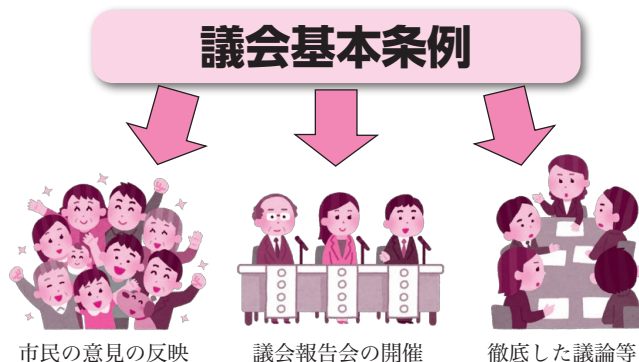
校章には子どもと親と先生方の願いが表され、校歌には地域の昔からの歴史が込められており、これらは今後も人々の心の中で輝いていくことでしょう。

たゆまぬ改革 小浜市議会基本条例の検証と見直し

小浜市議会では、市民とともに歩む開かれた議会を実現するため、平成24年12月に「小浜市議会基本条例」を制定し、議会活動の活発化や議会機能の充実など、議会改革の諸施策に積極的に取り組んできました。このたび、同条例の制定後5年が経過したことから、さらなる議会改革を進めるため、小浜市議会基本条例の検証・見直しを行いました。

「議会基本条例」とは？

議会基本条例は、議会の最高規範として議会が担うべき役割を果たすために必要な基本的事項を定めた条例で、議会の役割や市民との関係を明らかにし、議会のあるべき姿や議会と議員の責務を規定しています。



議会力アップをめざして

所管事務調査^(※1)の充実！

常任委員会の所管事務調査のフロー図・手引きを作成し、調査活動を充実させ、政策提言、政策立案をめざします。

請願・陳情を提出しやすく！

請願の紹介議員の制限を緩和するとともに、陳情の取り扱い基準を策定し、市民の皆様からの多くの声を反映させます。

反問権^(※2)を使いやすく！

反問権をより行使しやすくするための実施要綱、運用指針を策定し、論点を明確化し議論を深めます。

情報共有の強化！

議員が審議会等の会議に出席した際の報告の方法を取り決め、議会としての情報共有を図り、議会活動に生かします。

小浜市議会ではこのほか、傍聴規則の見直しやタブレット端末の導入、市民アンケートの実施など、さまざまな議会改革に取り組んできましたが、議会改革にはゴールはありません。二元代表制の一翼を担う私たち議会は、執行機関の監視機能はもとより、政策提言・政策立案などの政策形成機能の強化にたゆみなく取り組んでいきます。

(※1) 所管事務調査……常任委員会が自主的にその委員会が所管する事務について行う調査
 (※2) 反問権……議員からの質疑や質問に対する答弁者が、議員に対して質問する権利

議会活動日誌

2月

(主な活動のみ掲載しています)

日	曜	行事等内容	出席者
21	木	本会議、予算決算常任委員会	全議員
//	//	総務民生常任委員会	関係議員
22	金	本会議、予算決算常任委員会	全議員
//	//	広報委員会	関係議員
25	月	産業教育常任委員会、分科会 ~ 26日	関係議員
27	水	総務民生常任委員会、分科会 ~ 28日	関係議員

3月

日	曜	行事等内容	出席者
2	土	奈良市お水送り親善使節団歓迎会	正副議長

4	月	議会運営委員会、議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
12	火	お水取り親善訪問(奈良市) ~ 13日	議長ほか
14	木	本会議、全員協議会	全議員
//	//	議会運営委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
15	金	本会議、予算決算常任委員会	全議員
//	//	総務民生常任委員会、産業教育常任委員会、広報委員会	関係議員
18	月	予算決算常任委員会、全員協議会	全議員
22	金	議会運営委員会	関係議員
//	//	本会議、全員協議会	全議員

第18期議員のご紹介

よろしくお願いたします

任期：令和元年5月1日～令和5年4月30日



すぎもと かずのり
杉本 和範
松ヶ崎二丁目／①



ひがしの ひろかず
東野 浩和
多田／①



かわしろ まさかず
川代 雅和
西小川／①



さかがみ かずよ
坂上 和代
池河内／①



くまがい ひさえ
熊谷 久恵
生守／②



たけもと まさゆき
竹本 雅之
新小松原／②



まきおか てるお
牧岡 輝雄
青井／②



ふじた やすひと
藤田 靖人
小浜住吉／③



さくま ひろし
佐久間 博
小浜生玉／③



おざわ ながすみ
小澤 長純
中井／③



いまい しんじ
今井 伸治
湯岡／③



のど けいこ
能登 恵子
岡津／④



したなか まさゆき
下中 雅之
生守／⑤



かきもと まさなお
垣本 正直
新保／⑤



ふじた よしひら
藤田 善平
羽賀／⑤



ふろ しげあき
風呂 繁昭
小浜酒井／⑤



とみなが よしお
富永 芳夫
城内一丁目／⑥



いげお まさひこ
池尾 正彦
遠敷一丁目／⑥



※当選回数および年齢順に記載しております



(広報委員会)

編集後記

小浜市では4月に、東部4地区(国富・宮川・松永・遠敷)の小学校が統合され、小浜美郷小学校が開校しました。また、8年ぶりに市議会議員選挙が行われ、新人4人と現職14人が当選しました。

5月からは、天皇陛下の譲位により、元号が「平成」から「令和」に改元され、同時に第18期の小浜市議会がスタートしました。今後、より開かれた議会をめざし、議会の活動をわかりやすくお伝えできるよう取り組みますので、よろしくお願い申し上げます。